

シマグワ

科名 クワ

学名 Morus australis

別名 ヤماغワ



区分 木本類

分布 九州南部、沖縄

葉の形 楕円形、卵形、若木は3裂～5裂

葉の縁 鋸歯

葉の先 尾状形

葉の種類 単葉

葉の付方 互生

葉の基部 切形、ハート形

実の種類 集合果

花・萼色 黄色

海岸近くの山すそに見られる、高さ3-10mの落葉の低木です。葉は若木のときは深裂して色々な形になりますが、成木は楕円形または卵形で葉先は尾状形になります。長さ6-14cm、幅4-7cm、葉の表と裏には葉脈に短い毛があります。花は尾状花序で、葉腋から1個づつつきます。実は集合果で黒紫色に熟します。雌雄異株まれに同株。